

令和7年度

長崎市立丸尾中学校

学力向上プラン

令和7年度 丸尾中学校 学校経営方針 目指す学校像

- 学力の向上をめざし、知・徳・体のバランスのとれた教育を行う学校
- 信頼感で結ばれ、存在感を感じあえる学校
- 礼儀正しく規律ある学校
- 家庭・地域との連携を深め、安心と安全を保障できる学校

今年度の重点目標

- (1)学力向上の実現 (2)特別支援教育の充実
- (3)家庭・地域との連携 (4)主体的に行動する力の育成
- (5)生徒指導の充実 (6)豊かな心の育成
- (7)健康・安全教育の充実 (8)働き方改革の工夫と実践

R6到達目標 ○学力調査 県平均正答率との全教科平均の差 **-1.0 以上⇒未達成** ○休日のメディアの使用時間減少+家庭学習時間の増加生徒数 **80%以上⇒未達成**

長崎県「学びの習慣化メソッド」

『「学びに向かう力」を身に付けた子供の具体的な姿』

○「主」:主体的に学ぶ態度

・楽しみながら、学びを進めている等

○「律」:自分を律する力

・時間を考えて行動する等

○「客」:自分を客観的に把握する力

・学習内容の理解度を認識する

・学習内容や方法を見直し、修正する等

○「関」:よりよい生活や人間関係をつくらうとする態度

・自分の夢や目標を意識しながら生活する等

校内研究 研究の柱

夢に向かって努力する生徒の育成

～視点を明確にした学習指導の工夫と生活指導を通して～

実践項目

- (1)「生徒指導四機能」を生かした全職員によるオープン授業の実施(年10回)
- (2)代表職員による研究授業及び授業研究会の実施(年2回)
- (3)読解力・表現力の向上を目指した「読みトレ」の実践と事後指導(週1回)
- (4)「読みトレ」の実践効果の検証(年度末)
- (5)「学力調査結果分析シート」を活用した改善策の設定と実践
- (6)メディアの使用状況と家庭学習に関する生活調査(年4回)とPTAとの連携の強化(年2回)

<生徒の実態>

- ・素直な生徒が多い。
- ・意欲的に行事に取り組む生徒が多い。
- ・家庭におけるメディアの過度な使用による家庭学習不足や授業中の集中力の低さが課題
- ・学習規律に課題がある生徒が数名見られる。

<学力調査結果>

- ・一部の教科を除き、学力調査で県の平均正答率を下回っているものの、正答率の平均は昨年度よりも改善してきた(-3.12⇒-2.14)。
- ・問題の意味が理解できていない生徒が数名見られる。
- ・思考力・判断力・表現力を問われる問題においては理由や根拠を明確にして表現することに課題がある。また、1.2年次の基礎的・基本的な既習事項が身につけていない生徒が多い。

R7到達目標 ○学力調査 県平均正答率との全教科平均の差 **-1.0 以上** ○休日のメディアの使用時間が8時間以上の生徒の割合 **10%未満**